

標準的なバス情報フォーマットの普及促進

令和2年4月23日

国土交通省自動車局

標準的なバス情報フォーマットの普及促進

〔取組内容〕

バスロケーションシステムの導入支援を行うにあたって、標準的なバス情報フォーマット(GTFS)を使用したシステムを優先的に支援する要件を設定し、普及促進を図っているところ。

(1) 補助制度

- ・ 観光振興事業費補助金(公共交通利用環境の革新等事業) 次頁参照 令和2年度予算44億円の内数
- ・ 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業 令和2年度予算54億円の内数

(2) 補助実績	平成30年度	17事業者
	令和元年度	28事業者

(3) インターネットからバスの位置情報が閲覧可能なバスロケーションシステムの導入状況 (H31.3末)
乗合バス事業者 516事業者中 192事業者が導入 (37%)

【参考】観光振興事業費補助金交付要領 (公共交通利用環境の革新等事業)(抄)

5) 多言語ロケーションシステムについて

(中略)

また、バスロケーションシステムを導入する場合は、標準的なバス情報フォーマットを使用すること。

公共交通利用環境の革新等

令和2年度予算額 44億円
(国際観光旅客税財源充当事業)

地方部への訪日外国人旅行者の誘致の加速化に向け、我が国へのゲートウェイとなる空港・港湾から訪日外国人旅行者の来訪が特に多い観光地等に至るまでの既存の公共交通機関等について、訪日外国人旅行者のニーズが特に高い多言語対応、無料Wi-Fiサービス、トイレの洋式化、キャッシュレス決済対応等の取組を一気呵成に推進。

あわせて、二次交通について、多様な移動ニーズにきめ細やかに対応する新たな交通サービスの創出等を促進し、訪日外国人旅行者の移動手段の選択肢を充実させるとともに、「観光地型MaaS」の実装に向けて、観光地の公共交通機関のweb等での検索を可能とするデータ化の取組等を支援。

～ をセットで整備

<p>多言語対応 (事故・災害時等を含む)</p> <p>多言語表記等 スマートフォンアプリの活用等による案内放送の多言語化 タブレット端末、携帯型翻訳機、多言語拡声装置等の整備 多言語バスロケーションシステムの設置</p>	<p>無料Wi-Fiサービス</p> <p>旅客施設や車両等の無料Wi-Fiの整備</p>	<p>トイレの洋式化</p> <p>洋式トイレ、多機能トイレの整備</p>	<p>キャッシュレス決済対応</p> <p>全国共通ICカードの導入 QRコードやクレジットカード対応、企画乗車券の発行 レンタカーのキャッシュレス対応</p>
---	--	--	---

通常は整備が想定されない場合(例: ②無料Wi-Fiサービス(レンタカー等)、トイレの洋式化(バス、タクシー、レンタカー等)等)については、適用除外とする。
及び については、少なくともいずれか1つ実施。

✦ (あわせて ～ を支援可能)

<p>非常時のスマートフォン等の充電環境の確保</p> <p>非常用電源装置・携帯電話充電設備等</p>	<p>大きな荷物を持ったインバウンド旅客のための機能向上</p> <p>(旅客施設の段差解消) (LRTシステムの整備) (インバウンド対応型タクシー) (インバウンド対応型バス) (荷物置き場の設置)</p> <p>段差解消やスーツケース置き場の確保</p>	<p>移動そのものを楽しむ取組や新たな観光ニーズへの対応</p> <p>観光列車 魅力ある観光バス サイクルトレイン</p>	<p>多様なニーズに対応する新たな交通サービスの創出等</p> <p>オンデマンド交通(予約システム、住民ドライバー研修費) 超小型モビリティ・シェアサイクル等(サイクルポート等) 手荷物配送(予約システム)</p>
--	--	--	--

